

報道関係各位

2025年2月17日

「IT×英語で世界へ挑戦！」

広島工業大学の学生が英語弁論大会で2位の快挙

このたび、広島大学 E.S.S. (English Speaking Society) が全国大会として立ち上げた「第1回広島大学紅葉杯争奪英語弁論大会」において、本学 情報学部情報コミュニケーション学科* 3年次生の濱春輔^{はましゅんすけ}さんが第2位を受賞しました。

■情報学部 情報コミュニケーション学科* 3年次生 濱春輔^{はましゅんすけ}さん プロフィール

広陵高等学校出身。進路を考える中で、「場所に縛られず、世界中どこにいても働けるスキルを身につけたい」と考え、IT関連の知識に興味を持つようになる。2022年、広島工業大学 情報学部 情報コミュニケーション学科* に入学。

もともと英語に関心があり、独学で学習。2年次には短期留学プログラムに参加し、カナダで1か月間の留学を経験。これをきっかけに、海外の文化や言語への関心がさらに深まる。

2年次の終わりに E.S.S. に入部し、顧問の三熊教授の指導のもとで英語力を向上。大学入学時の TOEIC スコアは 300~400 点台だったが、現在は最高 865 点を獲得するまでに成長。

E.S.S.入部から1年足らずで本大会に出場。書類選考を通過した12名の出場者の中で、東京大学をはじめ、津田塾大学、関西学院大学、同志社大学といった強豪の学生を抑え、第2位を獲得した。現在は、アルバイトとして外国人向けツアーガイドも務めている。



■濱さんへのインタビュー

情報学部^{に所属しながら}、E.S.S.に入部しようと思ったきっかけは？

もともと独学で英語を学んでいましたが、高校ではバスケット部に所属しており、大学ではサークルに入っていませんでした。入部のきっかけは、2年次生の8月に参加したカナダへの1か月間の短期留学です。帰国後、学内で報告会が開かれ、みんなが日本語で発表する中、私は「英語で発表したい！」と思い、英語だけでスピーチをしました。そして、その様子を見た E.S.S.の顧問である三熊先生がサークルに誘ってくださったんです。大学の専攻とは全く異なり戸惑いましたが、英語力やプレゼンテーション力の向上がどこまでできるか試してみたくなり、入部を決めました。

「広島大学紅葉杯争奪英語弁論大会」はどのような大会ですか？

昨年までは、広島大学 E.S.S.が初心者向けの中四国大会として「キノコカップ」を実施していましたが、今年から全国大会として本大会が立ち上げられ、第1回大会が1月19日に実施されました。

全国に向けたオープン大会となったため非常にレベルの高いスピーカーが応募する中、予選原稿審査を通過した12名が出場しました。東京大学、同志社大学、早稲田大学、関西学院大学、岡山大学など、全国各地の強豪が、1人8分で事前に準備したテーマでスピーチを行いました。

「第1回広島大学紅葉杯争奪英語弁論大会」では、どのようなテーマでスピーチをしましたか？

スピーチのテーマは「？」です。

私は情報学部の学生として、「AIの進化が進む中で、人間にしかできないことは何か？」という問いに関心を持っています。

この問いに対する最も有力な答えの一つは、「質問すること」です。そこで、質問する力がどのように人間力として昇華するのかを考えてみました。

日本には、質問をためらう文化が根強く存在し、その影響は学校やオンラインの世界にも広がっています。近年、SNSでの炎上が頻繁に話題になりますが、その背景には「事実をすべて把握しているか？」「状況を正しく理解しているか？」と自問することなく、感情的に書き込みをする人が増えていることがあると考えています。

質問する力は、人間にしかできない貴重なスキルです。このスピーチを通じて、皆さんがその価値に気づき、積極的に活かしていくきっかけになればと思います、このテーマを選びました。



スピーチの様子

今後の目標は？

今年の8月に、大学の留学制度を利用してイリノイ州に9か月間留学します。現地ではコンピュータの授業を引き続き受けることができるので、語学力向上と両立させて頑張りたいと考えています。卒業後の進路はまだ絞っていませんが、海外での仕事も視野に入れています。大学ではプログラミングを学んでいるので、英語はツールの一つと考え、両方を活かせる方法を模索しています。



受賞後の濱さん（左）と三熊教授（右）

■取材について

濱さんや、E.S.S.顧問である三熊教授へのインタビューが可能です。取材をご希望の方は、以下の申込先までご連絡ください。



内容に関する各種お問合せ	TEL：082-921-6927（直通） 担当：生命学部 食品生命科学科* 三熊 祥文	E-mail：y.mikuma.ir@cc.it-hiroshima.ac.jp
取材に関する各種お問合せ （取材の申し込み先）	TEL：082-921-3128（直通） 担当：広報部 石田	FAX：082-921-8946 E-mail：kouhou@tsuru-gakuen.ac.jp

※2025年4月、広島工業大学は3学部11学科に改組します。